

Canon

対応力に効く!

クオリティが効く!

愛媛 みかん 観音 太郎

販売力に効く!

COLOR LABEL PRINTER LX 760 LX 740

社内プリントの秘訣教えます。 [導入事例はこちら](#)

TOP | 政治・経済 | 自然・環境 | 消費・流通 | 食の安全 | 食育・文化 | 食材 | 農業技術 | 就農・経営 | JAグループ

北海道 東北 関東 甲信越 東海 北陸 近畿 中国 四国 九州・沖縄 論説 四季(コラム) 一村逸品

TOP > 四季(コラム) > 記事本文

四季(コラム)

| RSS |

【四季】8/22

掲載日: 08-08-22

子どもたちの小さな田んぼの稲穂は出そろっただろうか。JA全中が行っているパケツ稲配布は事業開始から20年を迎え、今年は過去最高の80万セットになった▼申し込みは全都道府県からあるが、やはり大都市圏の関心が高い。はらはらしながら稲の成長を見守る子どもたちの様子が目に浮かぶ。過去の感想文や問い合わせを見ると、感動が大きいのは開花、喜びは当然、収穫だ▼東京・六本木のビルの屋上には、パケツならぬ木製の「酒樽(さかだる)稲」が並ぶ。アートディレクターの水谷孝次さんが主宰するメリープロジェクトが東京農大の指導で育てている。品種の数なんと23。アジア各国の品種やアフリカのネリカ稲もある▼水谷さんはこれまでに世界2万人以上の子どもたちの笑顔を撮影、作品は北京五輪の開会式にも使われた。屋上農園は世界の子どもたちを飢えから救おうという行動の一つ。そして日本の子どもたちには「もっと農業や林業のことを知ってもらいたい」という▼インターネット事業「ハッピーライス」にも協力している。漢字クイズに答えて1問正解することにより「地球のハラペコを救えキャンペーン」を通じて米50粒が寄付できる。費用は広告で賄う仕組み。子どもたちはパケツ稲を育て、漢字を覚えて、米1粒の重さを知る。

シリーズ **食料有事**

日本農業新聞
購読のお申し込み

産地便り アクセスランキング

- 家庭向けの米粉登場 特殊加工でパンやケーキ 消費すそ野拡大へ/新潟製粉【甲信越】(2943)
- 農業無料で教えます再就職を支援/京都府立農大校【近畿】(2878)
- 直売所きょう開店/神奈川・JAセ